

■ 賞の趣旨

GSデザイン会議は、2005年の設立以降、全国各地の総合的なまちづくりや空間デザインの要請に応え、分野を超えた専門家間の協働体制を確立することを目的として活動を続けてまいりました。各分野の専門家、行政、市民の連携によるトータルデザインの実践の蓄積と共に、シンポジウム等の開催を通じて、全国各地で実現されてきたまちづくりやデザインの実例を題材に議論を行う中で明らかになってきたことは、そういう優れた実例の背後には、現行の制度や予算、従来からの慣習など、様々な「現実の壁」を乗り越えるための努力と、献身的に孤軍奮闘してきた人々の姿が存在することです。

「GS功労賞」は、これからのまちづくりやデザインにとって模範となるプロジェクトにおいて、様々な「現実の壁」を突破するために献身的な努力を払われてきた個人を顕彰し、敬意と感謝を示す賞として2009年度に創設されました。

GSデザイン会議では、今後、毎年数人の方々に本賞を贈る予定です。本賞が、プロジェクト推進の過程で、所謂「縁の下」を支えてきた方々の功績を称えることで、その重要な役割を社会に発信するとともに、将来総合的な空間づくりを担う人材の発掘とネットワークづくり、そして望ましいデザイン体制のモデルの提示へと繋がることを期待しています。

GSデザイン会議代表 篠原修
内藤廣

■ 受賞資格

- 1) 受賞候補者は、GSデザイン会議の活動趣旨に沿ったプロジェクトの実現に際し、極めて重要な役割を果たした、各種団体・行政に所属する（又は所属していた）方々、住民、施工関係者等、個人を対象とします。なお、受賞候補者については、GSデザイン会議個人会員（以下、GS個人会員）である必要はありません。
- 2) 受賞候補者は、GS個人会員1名以上の推薦を必要とします。

■ 受賞までの流れ

- 1) 募集 : GS個人会員による受賞候補者の推薦を行いました（平成22年4月9日～5月7日）
- 2) ヒアリング : 聴聞会*にて推薦者に対するヒアリングを行いました（平成22年11月29日）
（*GSデザイン会議代表の選考によって推薦者以外で組織されます）
→ 推薦者へ内定通知 → 推薦者から受賞内定者への意志確認 → 受賞の正式決定
- 3) 表彰式 : 幹事会終了後、開催されました（平成22年12月8日）

■ 聴聞会の開催について

日時：平成22年11月29日（木） 17:00～17:30

場所：東京大学工学部一号館

聴聞会メンバー：篠原修（GS代表／政策研究大学院大学）、加藤源（日本都市総合研究所）、小出和郎（株式会社都市環境研究所）、田村幸久（大日本コンサルタント株式会社）

■ 事務局・問い合わせ先

GSデザイン会議事務局

〒113-0033東京都文京区本郷6-16-3幸伸ビル2F

電話 | 03-5805-5578 FAX | 03-5805-5579

E-mail | info@groundscape.jp URL | <http://www.groundscape.jp>

■ 受賞者のご紹介

くらはや ただし

倉谷 正 氏（北海道旅客鉄道株式会社 総合企画本部 地域計画部）

対象プロジェクト：岩見沢複合駅舎

推薦者：西村浩 氏（ワークヴィジョンズ）

倉谷氏略歴

- ・1957(S32)年 北海道根室市生まれ
- ・1978(S53)年 国鉄入社(建築部門)
- ・1987(S62)年 JR北海道入社(建築部門)
- ・1990(H2)年 駅周辺整備担当
- ・現在、JR北海道地域計画部主幹、岩見沢駅・旭川駅・野幌駅などの駅周辺整備事業における各自治体等との調整を担当



(聴聞会の様子)

聴聞会コメント：

第二回目となる本賞では、グッドデザイン大賞、日本建築学会賞などの受賞で話題の岩見沢複合駅舎のプロジェクトに関わる倉谷氏が推薦されました。ヒアリングでは、JR北海道のキーパーソンとして、まちづくりにおける駅の重要性を考えた社内・社外との柔軟かつ積極的な調整、働きかけなどについて説明されました。結果、JR、行政、市民、設計者の連携に大きく貢献したその献身的な一連の取り組みは、賞の趣旨に一致していることから受賞とすることになりました。

■ 賞状文面*のご紹介

(*文面は推薦者によって作成されました)

倉谷 正 殿

あなたは、岩見沢複合駅舎建築において、JRグループ全国初の試みである公募型建築デザインコンペの実現を支え、そして設計から完成に至る過程では、設計者や市民からの難題にも真摯に耳を傾け、地域交流の拠点となり変わらない価値をもつ駅の実現に大きく貢献されました。また市民と共に獲得した、2009年グッドデザイン大賞受賞の際には、ひと際大きな声で「ヤッター！ヤッター！！」と喜ぶ姿がTVで全国放映されたことから、ついに‘JR北海道のヤッターマン’と呼ばれるに至りました。

その情熱と揺るがない信念が、岩見沢におけるまちづくりの起点として市民に愛される駅舎を誕生させ、素晴らしい成果に結実されました。よってその功績を心から讃えるとともに、ここにGS功労賞を授与します。



(左より篠原代表、倉谷氏、内藤代表)

※GS功労賞を受賞された倉谷正さんは、2010年度より本会名誉会員となります。